

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第199号	氏名	高森 謙一
学位審査委員	主査 関根 一郎 副査 江口 勝美 副査 丹羽 正美		
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 機能性ディスぺプシア (Functional Dyspepsia: FD) における新規消化管ホルモン ghrelin の関与を明らかにするため、FD 患者において血漿 ghrelin の動態、胃排出能、精神心理学的状態を解析しようとした研究目的は明確である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 FD 患者の選択、胃排出能検査、血漿 ghrelin の測定、心理学的状態および QOL の評価方法など研究手法は妥当であった。</p>			
<p>3. 結果考察の評価 FD 群において空腹期の total ghrelin および desacyl ghrelin が有意に低値を示すこと、また胃排出能は有意に低下していることを観察し、FD の病因・病態に ghrelin が関与していることを示唆し、運動不全型 FD の病因の解明に大きく寄与したと評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は消化管学の発展に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			